

支援部便り

No.5

令和4年9月30日
宮城県立金成支援学校
支 援 部

学校間交流～金成小中学校



<中学部>

8月31日(水)、金成小中学校との学校間交流が直接交流で行われました。近隣の中学校との長年続いている交流です。金成小中学校の7年生(中学校1年生:以下同じ)のほとんどの生徒は、小学校3年生のときに交流学习で支援学校を訪れています。校舎に入ると「なつかしいな。」と話している生徒もいました。

今年の交流会には、12名の7年生が来校しました。開会式、朝の会、朝の運動、作業学習、昼休みの交流、閉会式、支援学校生徒のダンスの披露と午前から午後までの充実した交流になりました。初めは緊張した様子の生徒もいましたが、次第に笑顔がたくさん見られ、とても楽しい交流会となりました。作業学習では、手工芸と陶芸に分かれて活動しました。支援学校の生徒は、いつも行っている作業学習なので、作業のやり方を教えたり、一緒に同じ作業をしたりして7年生のみなさんとたくさん触れ合っていました。

金成小中学校の生徒からは、「あまり自分から話し掛けられなかったけれど、支援学校の人たちが作品を見せてくれたりしたのでうれしかったです。」「普段、やっていないことがたくさんあったので、いろいろ体験できて良かったです。」「僕たちが初めて陶芸をしたときに、優しく教えてくれたことが良かったです。」「優しく教えてくれたので分かりやすかったです。質問にすぐ答えてくれました。ありがとうございました。」「手工芸や昼休み、楽しい体験をすることができました。交流会でたくさん話をすることができました。」「紙すきが良かったです。」「陶芸の粘土の隙間を埋める作業が難しかったです。支援学校の生徒は作業に慣れていました。」「自分たちで作った皿などを売って、働くことを学んでいると聞いて驚きました。」「バドミントンのとき、ドンマイなどの掛け声もし合って交流しました。友達の仲が深まりました。」「昼休みにバドミントンができて楽しかった。ダンスもすごかったです。」「朝に6分間のウォーキングをしたのが良かったです。」「話をしっかり聞いてくれました。みんなコミュニケーションがしっかり取れていました。」「支援学校のみなさんから多くのことを教えてもらい、学ぶことができてとても良かったです。」などの感想があり、生徒それぞれの交流が深まりました。

<小学部>

9月9日(金)、金成小中学校3年生へ学校間交流の事前授業を行わせていただきました。本校の施設や授業、児童生徒についてスライドを用いて伝え、本校児童とコミュニケーションを取るためのポイントについて話し合いました。授業後に、「授業が楽しそう」、「支援学校のことが分かって良かった」という感想をいただき、短い時間でしたが本校のことを考えてもらうことができました。

9月27日(火)、今年度もコロナウイルス感染症予防のため、リモートで交流を行いました。画面越しでしたが、お互いの表情を見ながら自己紹介やプレゼント紹介、合奏発表などを行いました。また、金成小中学校3年生の代表児童からのお話では、話す内容が書いてある紙を、こちらに見えるようにして発表してくれました。分かりやすさを意識しながら関わっていただけたことを嬉しく感じました。ありがとうございます。とても楽しく過ごすことができましたので、次年度は直接交流できることを願っています。

金成小中3年生へ向けて制作した「だいすきぷーる!」にじみ絵やはじき絵に挑戦し、みんなで頑張って作りました。

